会　　報

新　　春　　号

≪第399号≫

目　　次

Ⅰ　新年ご挨拶　　会　長　　瀬戸本 淳　　2頁

Ⅱ　平成31年新春メッセージ　　兵庫の新たな歴史を築く
兵庫県知事　井戸　敏三　　3頁

Ⅲ　新年ご挨拶　　役　員　一　同　　4頁

Ⅳ　寄　　稿　　『中国文学の最高権威者　吉川幸次郎「文学と人生」』
会　長　　瀬戸本　淳　　5頁

Ⅴ　寄　　稿　　ぶらりまち歩き珍百景『ご存知ですか？　淡路島のはたらく車』
（株）岡工務店　専務取締役　　岡　澄彦氏　　6頁

Ⅵ　追　　悼　　～故北浪邦夫さんに感謝を込めて～
会　長　瀬戸本　淳　　7～8頁

Ⅶ　花だより、お知らせ　　6、9頁
広報コーナー（三田建設技能研修センター、兵庫県住宅再建共済制度
兵庫県工業高校建築科　卒展2019）　　10～12 頁

平成31年1月1日

次代を築くヒューマン・ネットワーク

一般社団法人兵庫県建築会

新　年　ご　挨　拶

会　長　瀬戸本　淳

明けましておめでとうございます。兵庫県建築会及び関係団体の皆様におかれましては、益々のご発展、ご活躍のご様子、心よりお慶び申し上げます。

創立 71 年を迎えた昨年も多くの事業を終えることができました。これも皆様の多大なご支援のおかげと心より感謝いたしております。

特に 11 月 15 日に開催されました兵庫県政 150 周年の協賛事業である講演会「兵庫津の歴史を語る」では、皆様のご努力のおかげで、無事、成功裏に終えることができました。有形登録文化財となった岡方倶楽部にて、120 人ものご来場の中、兵庫県政策創生部長の水埜浩様より、兵庫県庁発祥の歴史や、初代県庁舎の復元、また兵庫津の歴史資料館構想などを交えたご祝辞をいただきました後、よみがえる兵庫津連絡協議会の高田誠司様からは、1300 年にわたり栄えてきたこのまちをもう一度元気によみがえらせていくための、さまざまな活動報告がありました。

講演会では、カリスマガイドをされている高松良和様より、奈良時代からの大輪田泊、北前船などにより、北風・工楽家、高田屋嘉兵衛などの豪商を輩出して繁栄した兵庫津の歴史について、熱く語って下さり、続いて高田屋嘉兵衛翁顕彰会の相談役で翁の子孫でもある、高田耕作様より、翁の兵庫津を拠点として北前船を駆り、蝦夷、千島を舞台に活躍する波乱の生涯と意義についての貴重な講演をいただきました。

また、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」のまちとして、協議会・顕彰会の一層の事業の展開、健闘を讃え、今後の相互協力を祈念して握手、記念品の交換が行われました。

実行委員、事務局の皆様には、多大な業務をお願いし、盛会に導いて下さったことに心より感謝いたしております。

私事になりますが、私、この度、はからずも平成 30 年秋の褒章授受の栄に浴しましたところ、皆様からご祝意を賜り、まことに有難く、厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして、この講演会の前日、11 月 14 日に褒章の伝達を受け、引き続き皇居に参内して豊明殿にて、天皇陛下に拝謁の栄を賜り感激の極みでございました。これも皆様の温かいご支援の賜と深く感謝申し上げます。

兵庫県建築会は、次の 80 周年に向けて課題は山積みですが、ぜひ皆様と共に地域の安全安心、幸せなコミュニティを生む建築文化発展のため、仲良く、楽しく、大いに夢を語り合いながら、発展させていきたいと考えていますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年がすばらしい年になりますよう、皆様のご健勝ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成３１年新春メッセージ

兵庫の新たな歴史を築く

兵庫県知事　井戸敏三

新年あけましておめでとうございます。

４月には平成が終わり、５月から新元号の新たな時代が幕を開けます。さらに、９月のラグビーワールドカップ世界大会を皮切りに 2021 年のワールドマスターズゲームズ 2021 関西に続くゴールデンスポーツイヤーズがはじまります。2025 年大阪万博の開催も決定しました。今後、日本、関西、兵庫に世界の関心が集まることでしょう。

兵庫は、神戸港の開港以来、海外の文化や産業を取り入れ日本を先導してきました。それだけに、この機を捉え、世界の成長を呼び込み、人口減少と高齢化が同時に進む中でも、将来にわたり活力に満ちた地域としなければなりません。

五国の多様性を活かし、「兵庫 2030 年の展望」が描く自分らしい生活や働き方ができる「すこやか兵庫」の実現をめざして、新時代のふるさと兵庫を創ります。

第１は、安全安心で豊かな暮らしの実現。頻発する自然災害や来るべき大規模災害への備えを強化します。また、子育て環境の充実や医療介護体制の確保など、安心して暮らせる基盤をつくります。

第２は、未来へ続く地域活力の創出。次世代産業の創出や新事業展開の促進、農林水産業の基幹産業化を進めます。また、地域と世界で活躍できる人材の育成に加え、誰もが生涯活躍できるよう、学び直しや多様な働き方を支援します。

第３は、国内外との交流・環流の拡大。インバウンド対策など内外からの誘客促進や五国の持つ資源を生かしたツーリズム人口の拡大、県外県民「ひょうご e-県民」の登録など人口の環流促進を図ります。高速道路の整備や空港、港湾の有効利用など交流の基盤となる交通インフラを充実します。

いつの時代も、ふるさとの将来に夢や希望を持ち、果敢に挑む人々が兵庫の明日を切り拓いてきました。兵庫の新たな歴史を築くための第一歩を共に踏み出していきましょう。

兵庫県 150 年 新スタート 五国を活かし すこやかめざす

謹賀新年

旧年中は弊会の事業運営にあたりまして、会員及び関係者の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年も皆様の期待に応える事業運営に心がけてまいりますので、一層のご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成３１年元旦

－　役員一同　－

名誉顧問	竹村　章	会長	瀬戸本　淳	参与	渡邊勝幸
	太田敏郎	副会長	山本康一郎		川端宏幸
			小南正雄		木村光利
顧問	奥原　崇		大木弘惠		
	井垣昭人	専務理事	谷　純夫	幹事	勝野聡一郎
	竹本明正	理事	岡　澄彦		田中　忍
	川嶋　実		平井保夫		瀬尾武夫
	高橋伸明		和田好勝		前川真一郎
	柏本　保		北浪孝一		宮崎健一
	山本亮三		矢間照人		池内　修
	棚田　肇		河野潤也		谷口正樹
	石田邦夫		浜田洋光		吉川壽一
		監事	山田聖一		坂井　豊
			立花　充		荒木隆一

Ⅳ　寄　稿　神戸秘話第１８回
『中国文学の最高権威者
吉川幸次郎「文学と人生」』

会　長　　瀬戸本　淳

今を遡ること５４年前の５月４日、高校２年生の僕は神戸国際会館にいた。この日は県立神戸高等学校創立６８周年の記念講演があり、壇上には吉川幸次郎先生が立っていた。当時は１７歳、残念ながらどんな話だったかほとんど覚えていない。しかし、いくつもの星霜を経たいま、あの時の講演内容を知りたくなってきた。そこで、神戸高校の教師を長年勤め、現在は校史の編纂に情熱を傾けている同級生の永田實先生に訊ねてみたところ、朝日選書の『吉川幸次郎講演集』の最終章にあるよと教えてくれた。さすがは永田先生。記憶力が抜群で、神戸高校の歴史の生き字引だ。この神戸秘話シリーズも彼のアドバイスなくして成り立たない。

「世の中にはいろんな生き方があるが、どの生き方も、なにがしの価値をもつというふうに考えるということは、いいかえれば寛容の精神であります。そうした精神は、おそらく哲学の本だけでは不十分で、文学の本をお読みになることによって得られましょう。そうしてそのかたご自身の人生、あるいはそのご家族の人生、あるいはその営業体その他共同体の生き方、あるいはもっと広い範囲では社会に、幸福をもたらすように思います」。５４年ぶりに出会った講演内容は、人生の使命を示す素晴らしいものだった。文学研究に生涯を捧げた先生の言葉は心に響く。

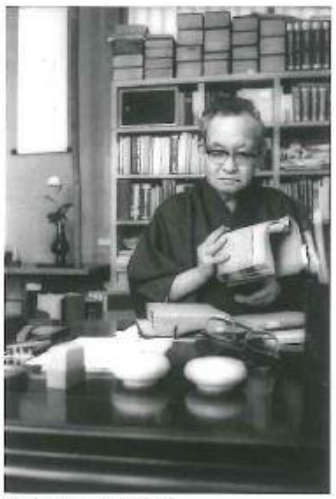
ところで、吉川先生はなぜ中国文学に傾倒していったのだろうか。そのヒントは生い立ちにあるのではないかと思う。

吉川幸次郎先生は明治３７年（１９０４）、神戸で貿易商の子として生まれた。いまでこそその面影はないが、当時は花街だった花隈に住まいがあり、竹馬の友で神戸一中（後の神戸高校）の同級生でもあった文化庁長官今日出海（こんひでみ）氏は、吉川宅を訪ねるたび「目のやり場に困るくらい、芸者の行列を見ていなければならなかった」と回想している。神戸という開けた街の「別世界」のような場所で育った吉川少年には、もともと国境なんてなかったのかもかもしれない。

吉川少年は勉学こそ優秀だったが運動が苦手な〝文弱〟で、小学校時代は「シナ人」というあだ名で呼ばれていたという。当時は中国人を見下していた時代、差別的ニュアンスが滲む。しかし、なぜシナ人ではいけないのか？という疑問を抱いたのだろうか、いつしか中国に興味を抱くようになり、中学時代に『史記国字解』を読破したという。神戸一中に進学後は『水滸伝』『西遊記』『三国志』などの訳書に触れ、第三高等学校（京大総合人間学部の前身）へ進むと中国語を学び、京都帝国大学では中国語学や中国古典文学も研究、中国を旅し、芥川龍之介や佐藤春夫の影響もあり、ますます中国へ傾くようになる。卒業論文を漢文で書き大学院に進学、唐詩の研究に明け暮れた。

昭和３年（１９２８）から３年ほど北京に留学、帰国後は中国を知るためにと論文を中国語で書いただけでなく、中国語で会話し、中国服を着て日常を過ごしたという。戦後は京大教授に就任。中国文学研究の第一線で活躍し、世界的にも評価され、昭和４４年（１９６９）には文化功労者にもなっている。

京大退官後は自らを「町の儒者」と名乗っていたように、吉川先生が特に敬愛したのは孔子だった。その話は次回に。


（写真提供　文藝春秋）

※敬称略
※朝日選書『吉川幸次郎講演集』、神戸高校同窓会会誌、文春写真館ホームページなどを参考にしました。

吉川　幸次郎（よしかわ　こうじろう）
中国文学者

字（あざな）は善之。１９０４年、神戸で貿易商の子として生まれる。神戸一中（後の兵庫県立神戸高等学校）に在学中、『水滸伝』『西遊記』『三国志』などの訳書に触れる。第三高等学校（後の京大総合人間学部）へ進学後は中国語を学び、京都帝国大学では中国語学や中国古典文学を研究。中国江南を旅し、大学院に進学後は唐詩の研究に明け暮れた。１９２８年より北京に留学、北京大学で清朝考証学を学ぶ。帰国後は論文を中国語で書き、中国語で会話し、中国服を着て日常を過ごした。１９４７年、京大教授に就任。日本での中国文学研究の第一線で活躍し、１９６９年には文化功労者にもなっている。１９８０年に７６歳で逝去。著作に「杜甫私記」（単著）、「論語」（訳書）、「新唐詩選」（共著）ほか多数

※　月刊神戸っ子２０１８年５月号より転載しました。

Ⅴ　寄　稿：ぶらりまち歩き珍百景
『ご存知ですか？　淡路島のはたらく車』

㈱岡工務店　専務取締役　　岡　澄彦氏

水田の裏作としてぬかるんでいる農地が多い淡路島では、軽自動車ではタイヤが小さすぎて抜け出せなくなってしまう。タイヤの大きい農民車なら作業ができる。また田畑の面積が小さく細い農道がはりめぐらされている淡路島では、北海道で使う巨大なトラクターより小型で小回りが利く車両の方が向いている。

重い野菜を生産する農家が多く、高低差がある農地も多いため、小型でも登坂力がある車両がほしいという農家の要望に沿う形で一台一台手作りそれも適当で誕生したという。農民車の規格が 4 サイクル上限 1500cc（北淡町役場では 2 サイクルならば 1000cc 上限）であるのはそうした事情からだ。

鉄工所が勘でドライブシャフトを切り繋ぎ、板バネを溶接し、どこかから耕運機か中古乗用車のエンジンを持ってきて、凡そでボルト止めする。本当にこれで走る車ができるのだから、不思議なものである。東南アジア諸国のタクシー「トゥクトゥク」「ジープニー」にも似た手法である。例えば、お面が「くろがね」や「ホープ」の流用なら、後半部が「ダイハツ」の荷台、原動機は「ダットサン」（A10 型）と究極のリユースによって作られた個体ばかりである。かつては焼玉エンジン搭載の個体まで存在した。

その農民車も進化を遂げる。農家の需要に応じて四輪駆動化し、堆肥を運ぶため荷台にはダンプ機能を備えた。タマネギを小屋につるため、荷台にはさらにリフト機能も採用。山間の狭い農地のためには、全長や車幅を切り詰め、リアエンジンで登坂力を高めた。「島の鍛冶屋さんの知恵の固まり」だと言う。2 台と同じものはない。最盛期、農民車の工場が島に 10 社以上あり、1980 年代には推定 1 万台が稼働していた、との記録もある。これが、隣の家島や徳島に渡れば農民車は存在しないが、果樹園の多い和歌山県南部では淡路島とは一味違うスタイルの農民車が華を競い合う。

しかし、近年は島内の農民車の出番も減った。役場に正規登録されたもので諸説あるが 2000 台といわれている。淡路タマネギの人気にも関わらず、作り手は高齢化して減少を辿る。軽トラックの高性能化に、農民車は押されているという。寂しいことだが時代とともに変遷して、白物家電のような変化を遂げるのだろうか。

収穫から乾燥、出荷まで全て機械化が進んだ今、農民車と昔ながらのタマネギ小屋のある昔ながらの風景を「淡路島のかくれ名所」であると思う。

Ⅶ花だより：バラ（神戸市須磨区：須磨離宮公園）

『咲き次ぎて冬薔薇となる人もまた』
原田かほる

寒さに耐えて咲く冬の薔薇は、夏の薔薇と違って清らかな印象がある。薔薇がついに冬薔薇となるように、人も年齢を重ねて冬薔薇のような人になる。誰でもそうありたいと思うだろう。
（長谷川　櫂）

この句は２００７年１１月の読売新聞「四季」に紹介されたもので、退職をした年でもあったからか、共感するところがあり、今も切り抜きを置いています。現実の対応は難しいところがありますが、そんな冬薔薇の少し手前となる薔薇を求めて離宮公園で鑑賞してきました。　－９頁へ－

追　　悼

～故北浪邦夫さんへの感謝を込めて～

一般社団法人　兵庫県建築会
会　長　　瀬戸本　淳

兵庫県建築会　前会長の北浪邦夫様が 10 月 2 日に泉界に旅立たれました。

これ程早くお別れの時が来るとは、誠に思いがけなく、とても残念です。

北浪様は、その卓越した行動力と業界のリーダー的なお人柄が県内にも知れわたり、また兵庫県建築会にとっても、なくてはならない方でした。

私も建築会に入れていただき、初めてお目にかかった時から、あのあたたかいやさしい笑顔に魅了され、大きなお心に感銘を受けてまいりました。特に建築会の海外研修旅行では、フランスのパリやモロッコ・スペイン・ポルトガルの旅などで、明るい奥様と共にほんとうに楽しい思い出を、いっぱいいただきました。

建築会のゴルフコンペでも、みんなの楽しい輪の中心に、いつもいらっしゃいました。また、有名ジャズシンガーであるお嬢様の良佳さんのライブにも、グレートブルーをはじめ何回か誘って下さり、すてきな時間を過ごすことができました。いただきましたたくさんの笑顔に対して、お返しが全くできていないのが、とてもつらいです。

ご子息の北浪孝一社長様からお聞きしたのですが、お父様は最後までいつもの笑顔だったそうです。

なつかしい方が過ぎ逝かれました。長い間、ほんとうにお疲れ様でした。
ありがとうございました。ここに深く哀悼の意を表し、あわせてご生前のご業績に心より敬意を表します。

故北浪邦夫氏 思い出の写真

北浪邦夫氏略歴（建築会関係分）
昭和４３年　４月～　理事
昭和４６年　４月～　幹事
昭和５３年　５月～　理事
昭和６２年　５月～　理事副会長
平成１６年　５月～２４年５月　理事会長
表彰
平成　元年　５月　兵庫県功労者表彰
平成１２年　７月　建設大臣表彰（建設事業功労者）
平成１４年１１月　黄綬褒章綬章

黄綬褒章受章記念お祝いの会（平成１５年）

創立６０周年記念（平成２０年）
井戸兵庫県知事から感謝状贈呈

環境共生海外研修セミナー（平成９年パリ・セーヌ川）
現会長瀬戸本氏と

見学研修旅行（平成２４年岡山県）前列中央

研修交流会（平成１８年・東条湖カントリー倶楽部）
前列左から２人目

＜６頁からの続き＞
　ここは元武庫離宮で戦後神戸市に下賜された由来から「王侯貴族の薔薇園」として平面幾何学式庭園に１８０種４０００株の薔薇が植栽され、諸外国の皇族の名を付けた薔薇が展示されています。
　やはり咲き誇る夏薔薇の豪華さには及ばないものの、華麗さは変わりありません。その中から日本の皇族に関わるものをご紹介します。

プリンセス・ミチコ：美智子妃殿下に捧げられたバラ。温かみのある花の様子が妃殿下のお人柄をよくあらわしているようです。
　花期を少し過ぎていましたので解説板の画像を参考に掲示します。
系統分類　モダンローズ、　作出年　１９６６年

マサコ：皇太子妃雅子様に捧げられたバラ。ご成婚の翌年作出。
系統分類　モダンローズ、　作出年　１９９４年

プリンセスアイコ：敬宮愛子親王殿下の誕生を祝して捧げられたバラ。
系統分類　モダンローズ、　作出年　２００２年

Ⅶ　お知らせ

◎行事予定

○　新春会員交流会（第４７０回月例会併催）
日　時　平成３１年１月１０日（木）17 時 30 分～
会　場　神戸三宮東急ＲＥＩホテル
主な次第　・交流会開催挨拶・受章報告・来賓祝辞
　・祝賀演奏・乾杯・懇親交流会

○　第４７１回月例会
日　時　平成３１年２月７日（木）１２時～
会　場　西村屋和味旬彩
テーマ　健康マイプラン「健康維持に欠かせない農業と共生関係―地域創生になぜオーガニック農業が大切か！！―」
講　師　河野　武平氏　（㈱）精膳　代表取締役

○　第４７２回月例会
日　時　平成３１年３月７日（木）１２時～
会　場　神戸三宮東急ＲＥＩホテル
テーマ　「音楽のまち神戸を考える」
講　師　宮本　慶子氏

◎事務局便り

○　会員、関係者の皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
　昨年は会報作りで、特別会員からの施策紹介を企画展開し、大変なご協力をいただきありがとうございました。今年もその実績等を踏まえ、会報のあり方、活用について検討を加えていきたいと思いますので、ご支援ご協力よろしくお願いします。

○　今年の干支「己亥」（つちのとい）情報を少し。
　十干の己（つちのと）の年は、完成した自己や成熟した組織が、足元を固めて、次の段階を目指す準備をする年。
　また、十二支の亥の年は、翌年から始まる次の種の成長に備えて、個人は知識を増やし、精神を育て、組織は人材育成や設備投資等を固めるなど、内部の充実を心がける年のようです。
　従いまして、己、亥共に、内なる充実を図り、次のステージの準備をする年と言えます。
（２０１９年の干支は己亥より）
　また、亥年の方の基本的な特徴は、お人好しで、自分の主張をハッキリとするが、人間関係を重視し、人を大切にしている暖かい心の持ち主であるとか。注意すべきは、責任感の強さと忍耐力から、心身ともに限界まで頑張ってしまうため、適度に自分を労わってあげることが大切のようです。
（干支のお話「亥の干支の意味は？性格は？」より）
　さて、当たるも八卦当たらぬも八卦。

事務局　：　谷　純夫、石井滝実子
電　話　：　078－996－2851
FAX　：　078－996－2852
Email　：　archit-k@axel.ocn.ne.jp

広報コーナー：三田建設技能研修センター

三田建設技能研修センター

三田建設技能研修センターは昭和57年7月、建設現場で働く人々の研修施設として設立され、これまでに67,100人以上の修了生を送り出してきました。
建設企業の競争力を確保する上で、建設現場従事者の技術・技能の向上は最重要課題となっています。
三田建設技能研修センターをフルに活用し、キャリアアップ、スキルアップを図ってください。

建設労働者緊急育成支援事業

未就業者の建設業への入職を促進するため、平成29年より地方拠点として、建設労働者緊急育成支援事業を実施しています。

技能士コース

鉄筋施工科、型枠施工科、とび科、配管科の4コースで、修了者は技能検定の学科試験が免除になります。各コースとも、通学制と通信制があり、遠距離からの受講もスムーズに資格が取れます。

専門コース

新入社員実務研修（建築、土木技術）測量技能、土木積算の研修の他、各種の技術検定の受験講習など施工者向けのコースが多く、建設関連企業の優秀な教官から現場でつちかった知識と経験を活かした丁寧な指導が受けられます。

技能講習

当センターは労働局長登録教習機関です。建設機械の運転には（免許証）または、（技能講習修了証）が必要となります。寒場冬場の厳しい時期には待機所も備え、快適に訓練が受けられます。

平成30年度　後期受講生募集のご案内

職長・安全衛生責任者研修	土日 11月17日～18日 土日 平成31年 3月2日～3日	15,400円	CPDS14ユニット
石綿作業主任者技能講習	土日 11月10日～11日	12,000円	CPDS6ユニット
刈払機取扱作業者安全衛生教育	土 平成31年 3月 2日	9,200円	CPDS3ユニット
酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育	日 平成31年 3月 3日	8,000円	CPDS3ユニット
足場の組立て等作業主任者技能講習	土日 平成31年 2月23日～24日	9,700円	CPDS7ユニット
車両系建設機械運転技能講習（解体用）	平成31年 2月 4日	19,100円	CPDS4ユニット
車両系建設機械運転技能講習（整地・運搬等用）	11月28日～29日 平成31年2月 2日～ 3日	39,900円	CPDS8ユニット
小型移動式クレーン運転技能講習	12月 7日～ 9日 平成31年1月17日～19日 2月21日～23日 3月15日～17日	26,700円	CPDS11ユニット
玉掛け技能講習	12月13日～15日 平成31年1月16日～18日 2月14日～16日 3月 8日～10日	17,400円	CPDS11ユニット
高所作業車運転技能講習 普通運転免許所持者	12月 7日～ 8日 平成31年 1月30日～31日 2月22日～23日 3月19日～20日	36,000円	CPDS9ユニット
フォークリフト運転技能講習 4日コース 普通運転免許所持者	土日 12月1日～2日、8日～9日 土日平日 平成31年1月18日～21日 土日 2月16日～17日、23日～24日 土日平日 3月2日～5日 土日 3月9日～10日、16日～17日	29,600円	－
フォークリフト運転技能講習 2日コース 大特免許所持者	土日 12月 1日～ 2日 土日 平成31年3月 2日～ 3日	21,300円	－

三田建設技能研修センター

職業訓練法人 近畿建設技能研修協会
〒669-1544　兵庫県三田市武庫が丘6丁目1番地
tel (079)564-4745　fax (079)564-6058
Eメール　info@kensetsu-sanda.ac.jp

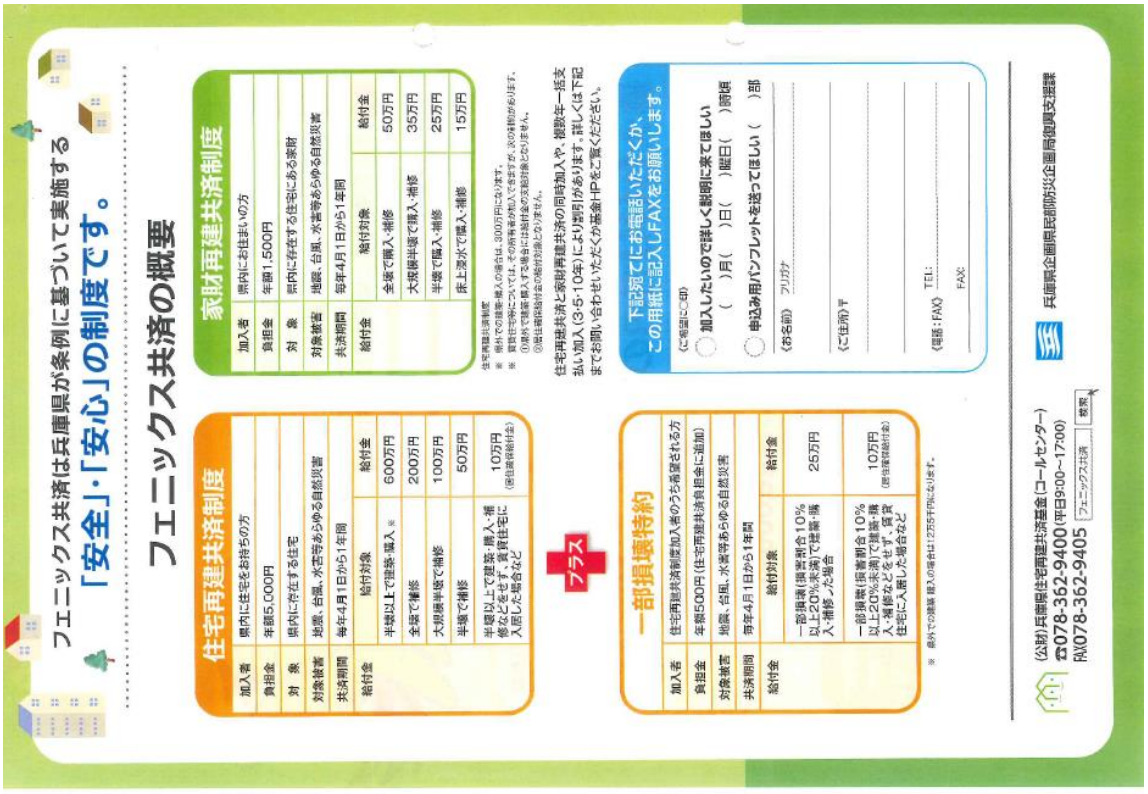
三田市は阪神地域にあり、高速道路等交通の要衝の地。
無料駐車場、宿泊設備も完備。
ホームページで全容を紹介しています。
またホームページから申込書がダウンロードできます。

三田建設技能研修センター　検索

広　報　コ　ー　ナ　ー

『兵庫県住宅再建共済制度』の詳細は次からご覧いただけます。

兵庫県住宅再建共済基金ＨＰ　→　http://phoenix.jutakusaiken.jp/



広　報　コ　ー　ナ　ー

『兵庫県立兵庫工業高等学校 建築科』の来春卒業生の作品展が初めて校外で行われます。その力作をご覧ください。